

西尾市議会報告会

議会改革検討委員会

令和5年5月14日（日）午前10時～

委員長 本郷照代

副委員長 松崎隆治（R. 4. 1～6月）、大塚久美子（R. 4. 7月～）

委員 牧野次郎 松井晋一郎 神谷雅章 犬飼勝博 小林孝幸

山本道代 福西章人 佐々木映美

★経過報告（令和4年1月～令和5年4月）

- ・前議長より諮問⇒任意委員会を設置
- ・議会基本条例制定以来、5年を経過

第29条：議会は、この条例の目的が達成されているかについて常に検証し
必要に応じて議会に関する条例等の見直しを行う

【見直し項目】

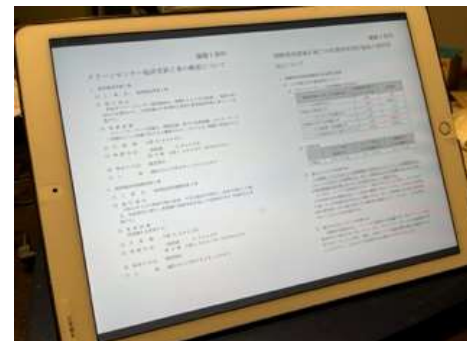
1. 政務活動費
2. 議員研修
3. 議員間討議
4. 議会報告会
5. 広報等の充実
6. 図書室の充実と積極的活用
7. 情報通信技術の活用
8. 災害時の業務継続
9. 議員定数の適正化
10. その他検討委員会が必要と判断したこと



※緑字は、見直し終了項目

【見直し結果】

1. 図書室の充実と積極的活用：貸出ルールの徹底、カードキー利用
2. 政務活動費：通信費・燃料費は含めず（R. 5. 3月議会にて条例改正
3. 議員研修：毎年10月に開催、他自治体議員にも案内）
⇒講師の都合により前倒し可、他自治体には案内しない
4. 報告会：条例では年1回開催することができる
⇒平成28年4月以来、行っていない⇒令和5年4月実施
5. 議員定数の適正化：13回の検討会を経て、現行通り30人と結論
6. 情報通信技術の活用：オンラインによる委員会出席を可能にすべき
7. 議員間討議：議員間討議について、未定であるので現在検討中



★議員定数適正化について

適正な議員定数に関して、議員全員が共通認識を持つ必要あり、との判断から議員研修を行い、13回の検討委員会を経て、現行通り30人と結論

議員研修会：令和4年7月14日（木）14:00～16:00

講師：(株)地方議会総合研究所代表取締役 廣瀬 和彦 氏

【議員定数を考える上での視点】

- ① 常任委員会方式：7～8人×4=28～32人
- ② 人口比例方式：議員1人当り住民代表数4,500～6,000人
 $170,200 \div 4,500 \sim 6,000 = 38 \sim 29$ 人
- ③ 小学校区方式：26校（義務教育学校含む）26人+ α
- ④ 議会費固定化方式：議会費（1%）6億6千万 > 4億3万円)
- ⑤ 類似都市との比較方式：Ⅳ-2（17市） $30 \times 0.978 = 29$ 人
- ⑥ 面積・人口方式：161.22km²、170,200人
 $14.78 + 0.0846 \times 170.0^2 - 0.0000655 \times 170.0 + 0.0061 \times 161 = 29$ 人






★議会改革とは

- ・ 議員定数を減らす議論よりも、議員の資質をいかに高め、民意の反映をどうするか議論が重要
- ・ 議員の活動を市民に理解してもらうよう議会の見える化を促進すべき

★今後の検討事項

1. 議員間討議：本年早い時期に研修を予定
2. 災害時の業務継続：災害時において迅速かつ適切に対応するための組織体制を構築

A wide-angle photograph of the San Francisco City Hall at dusk. The building is illuminated from within, highlighting its classical architecture with a prominent central dome and a portico with columns. The sky is a clear, deep blue. In the foreground, there is a street with some parked cars and trees. The Japanese text is overlaid on the right side of the image.

ご静聴ありがとうございました
議会改革検討委員会